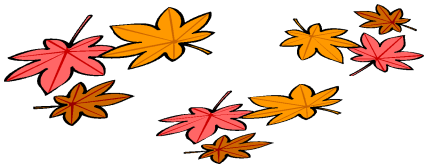
佐野市立界小学校　校長室だより第7号

令和2年10月1日



界の子

今日から10月。昇降口脇の金木犀が風に乗ってよい香りを運んでいます。

先月13日(日)の運動会は、低・中・高学年別の分散となりましたが、一生懸命頑張る子どもたちの姿はいつもと変わらず、今年も感動をもらいました。保護者の皆様には、早朝よりご協力いただきありがとうございました。

早いもので一年間の折り返しを迎え、12日(月)からは2学期です。引き続き、健康な体と心を育み、確かな学力を身に付けさせるための着実な歩みを行っていきます。2学期も皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いします。

思い出に残る遠足を･･･

臨時休業が続き、延期されていた各学年の遠足が、2学期に予定されています。方面を変更したり、三密にならない活動を取り入れたり、コロナウイルス感染防止には十分配慮して実施します。事前に参加の有無を確認させていただきます。ご家庭におきましては、引き続き健康管理にご協力ください。よろしくお願いします。

～特色ある道徳教育研究発表～ 11月13日(金)

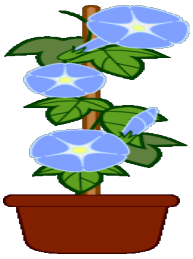
令和元年度から研究を続けてきました「道徳教育」の実践を、市内の先生方に見ていただきます。

当日は、2年2組、3年1組、6年2組、チャレンジ学級(3･4年)の研究授業を行います。保護者の皆様にもアンケート等でご協力をいただきありがとうございました。

みんな　ちがうんだね

今年も１年生は、一人一鉢アサガオを育てました。私にとっても、人生で初めてじっくり栽培し観察した植物は、「アサガオ」でした。

半月型の黒い種を手の平の上で数え、それを蒔くと、数日後には土を持ち上げながらアーチ型の芽が出ました。その後、双葉が開き本葉が出て、巻きひげを支柱に絡ませながらぐんぐん成長していく様子がとても楽しみでした。梅雨が明ける頃、らせん形のつぼみが開き、鮮やかな花が咲いた日の朝はとてもうれしかったことを今でもよく覚えています。花が終わると小さな実が膨らみ、その中にできた黒い種を次の１年生にプレゼントしたものです。



アサガオだけがこれだけ鮮明に記憶に残るのは、きっと「初めて自分の手で最後まで育てたから」そして、「みんなで一緒に観察したから」ではないかと思います。

今年も、池の周りで育てていたアサガオを見ているとき、『校長先生、おなじたねでもみんなちがうんだね。』と、１年生から声を掛けられました。

同じ日に種を蒔いても、芽が出る日も花が咲く日もみんな違います。人も花と同じで、成長するスピードが少しずつ違います。それぞれのペースを大事に、じっくりと自分の花を咲かせてほしいと願っています。